

ホホバ 頒布会便り



発行
毎月一回
(株)アイリス

早いもので、もう十二月。今年も残す所あとわずかとなりました。何かと忙しいこの時季、お肌のお手入れはつい忘れがちに。お風呂上りやお休み前など、決まったタイミングにお手入れ時間を作りましょう。

乾燥を防いで くすみのない白肌に

空気が乾燥するこの季節、お肌が乾燥すると、弾力を失ってシワっぽくなったり、顔色がくすんで見えてしまい、グッと老けた印象に。

お肌の水分量が低下すると、お肌は乾燥を防ごうと、角質層を厚くして水分を保とうとするので、その結



果、透明感や弾力のない、ゴワついでくすんだお肌になってしまいます。まずはしっかりと乾燥対策をして、お肌の水分量をキープしましょう。

水分だけでは お肌は潤わない

しかし、いくらお肌に水分を与えても、特に空気が乾燥する冬場は、肌表面からどんどんと水分が蒸発し

ていつてしまいます。

水分量をキープし、お肌を外部の刺激から守る役割をしてくれるのが、「皮脂」です。

しかし、年と共にお肌の皮脂分泌は衰えて行きますから、それを補うお手入れが必要となってくるのです。

乾燥したお肌は 刺激に敏感に

潤って弾力のあるお肌は、皮脂のベールにも守られて、外部からの刺激に過剰に反応する事はありません。乾燥して柔軟性の無くなった肌は、ヒビ割れたり皮がむけたり、外部の刺激に過敏に反応して、かゆみや湿疹等もできやすくなってしまいます。乾燥対策で、お肌の水分量を増やして、冬の乾燥からくる肌トラブルを防ぎましょう。

全身のお肌を乾燥から守るには

空気が乾燥し、乾燥によるお肌のトラブルが増えるこの季節。お肌の潤いを守り、くすみや小ジワを撃退するためには、お風呂上りに全身のお肌をチエツクして、保湿のお手入れを。

毎日の決まったタイミングに習慣づけましょう。

◆お肌のくすみ・ゴワつき

お肌の水分量が不足すると、角質が厚くなり、柔軟性が失われてお肌がくすんでしまいます。

お風呂上がりはお肌が潤っていますから、できるだけ早く、たっぷりホホバを伸ばして潤いベールを作って乾燥を防ぎましょう。

朝は洗顔後、アロエローションで十分に水分補給してからホホバを伸ばし、お肌の弾力をキープ。

◆かゆみ・湿疹

冬場は、お肌が乾燥して弾力を失いがちなので、ちよつとした刺激にも敏感になり、痒みが出やすくなりますから注意が必要です。

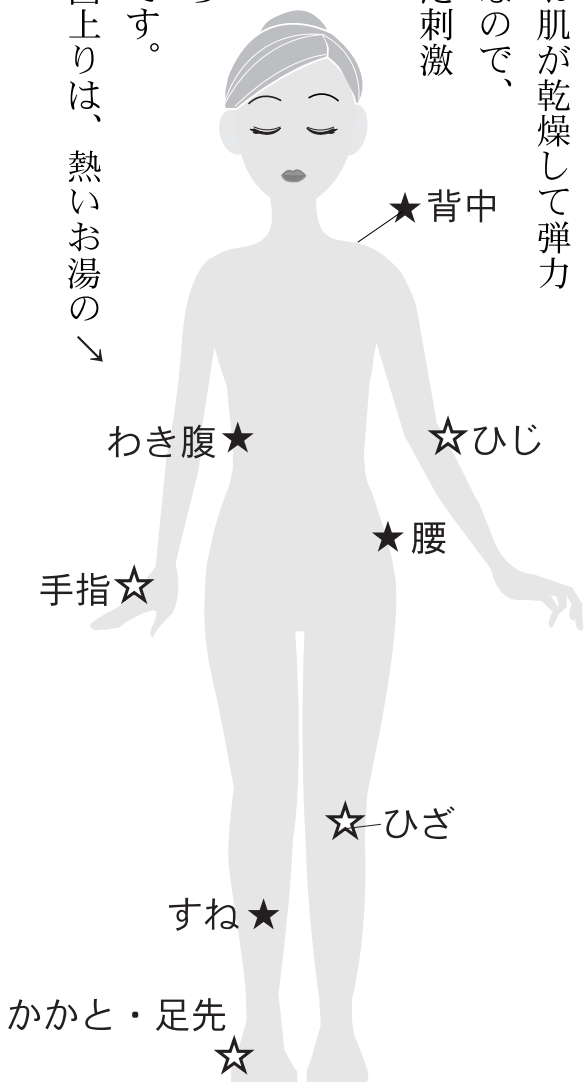
特にお風呂上りは、熱いお湯の

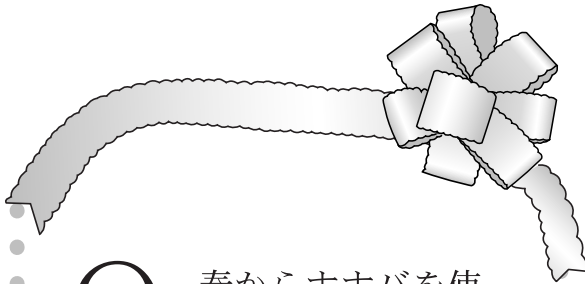
刺激や、洗い過ぎによる皮脂不足等で痒みが強くなります。

熱すぎるお湯や、身体を洗う際にナイロン製のタオルやボディブラシは避け、泡でお肌を撫でる様に洗い、お風呂上りは体が乾いてしまう前に素早くホホバを伸ばしましょう。

★印は、乾燥して痒みが出やすく、☆印は角質化しやすい部分ですから念入りにお手入れしてください。

肌着や寝間着は化繊のものを避け、綿やシルク等のものが良いでしょう。





Q 春からホホバを使い始めて、肌に優しく気に入っています。しかし、今回、注文したホホバが届いたのですが、固まっていました。

その後、そのままにしておいたら、いつの間にか液体に戻っていました。このまま使っても大丈夫なのでしょうか？



A もちろん、大丈夫です。

ホホバは、寒暖差の大きい半砂漠地帯で育ち、気温が約7℃以下になると固体化し、温かくなると液体に戻る、という優れた特質で、自らの水分をキープしています。液体←→固体を何度繰り返しても、品質に問題はありませんから、安心してご利用くださいませ。

◆ひじ・ひざ・かかと等

乾燥してお肌が角質化しやすいひじ・ひざ・かかとは、特に念入りにお手入れを。

お風呂上りや朝の着替えの時等、毎日のお手入れを習慣づけましょう。かかとにたっぷりホホバをつけて、靴下を履いたまま眠ると、翌朝、肌が柔らかく潤います。

◆耳・爪のお手入れに

耳掃除をする時に、綿棒にホホバをつけて行くと、カサカサ粉っぽい耳垢も取りやすくなり、乾燥を防いで耳内のお肌を保護します。また、手足の指先・爪にもたっぷりホホバをつけておくと、お肌が柔軟性を保ち、ささくれ等の予防にもなります。

◆髪の毛の乾燥にも

冬場、乾燥すると、髪を梳かし、

たんとたん、静電気で髪がパチパチと逆立ってしまうことがあります。

ヘアスタイルが乱れるだけでなく、髪にも大きなダメージを与える静電気を抑えるには、ホホバをアフタートリートメントに。

髪を乾かす前に、2〜3滴を全体に、乾いた髪には毛先をつまむ様につけます。

また、静電気体質を起こしやすい方は体の水分不足が原因かもしれないから、水分補給をお忘れなく。